第 431 回「言葉の院外処方箋」

新渡戸稲造記念センター 長 樋野興夫

対話の場 & 出会いの場 ～ ホ ッ と し た 表 情 に なる ～

2026 年 9 月 26 日 ひばりヶ丘駅 ー> 池袋駅 ー> 飯田橋駅 ー> 小岩駅に向かった。 第 33 回『小岩メデイカルカフェ みちくさ』(主催 : 野口恵子氏 江 戸 川 区 小 岩 栄 光 キ リ ス ト 教 会に於いて)での講演に赴いた。【が ん についての思いや不安などを語り合う『 対 話 』のための場所です。がんを経験された方、そのご家族・ご友人、身近な人を亡くされた方、医療者の方・・・。お茶を飲みつつ、語り合い、聴き合い、あるいは、ただそこにいるだけで、帰るころにはホッとした表情になっている・・・毎回そのような場となっています。】と 紹介されていた。

【『涙とともに パンを食べた者でなければ 人生の味は分からない』(ゲーテ:1749-1832)& ゲーテを こよなく敬愛したスイスの作家 ヨハンナ・シュピリ (1827-1901) の『アルプスの少女ハイジ』の現代的意義は『喜んで無邪気に 小さなことに大きな愛を込める』。また、『あなたが善を行うと、利己的な目的でそれをしたといわれるでしょう。気にすることなく、やり遂げなさい。目的を達しようとするとき、邪魔立てをする人に出会うでしょう。気にすることなく、やり遂げなさい。』 (マザー・テレサ : 1910-1997) 】をさりげなく語った。 また、下記も述べた。

『がん哲学外来の絶対性大原理』
愛がなければ全ては無意味
『がん哲学外来の真髄』
(1) 愛に溢れた雰囲気
(2) 静かな口調
(3) にもかかわらず
『がん哲学外来の心得』
(1) 仮面を外し、心の垣根をとる
(2) 秘密は守る、リラックスした時間を過ごす
(3) 正直になる、積極的に人々に仕える

多数の参加者で、複数の質問も寄せられた。 大変有意義な充実した貴重な時となった。 9 月 27 日は、【所沢がん哲学外来カフェつむぎ オープン記念講演会『言葉の院外処方箋 ～ 対話の場 & 出会いの場 ～』】に向かう(画像)。

心の糸を、ゆっくり、丁寧につむぐ場所。

所沢がん哲学外来カフェ つむぎ
オープン記念講演会

お茶を飲みながら、今の気持ちを「つむぎ」に来ませんか？

講師 樋野興夫先生

（順天堂大学名誉教授、がん哲学外来市民学会代表、
一般社団法人がん哲学外来名誉理事長、
新渡戸稲造記念センター長）



樋野興夫先生

講演題「言葉の院外処方箋
～対話の場＆出会いの場～」

2026年9月27日(日) 14:00～

北秋津キリスト教会 所沢市北秋津649-1
（所沢駅（西武池袋線・西武新宿線）東口より徒歩12～15分）
西武バス「北秋津」バス停より徒歩2分

所沢がん哲学外来カフェつむぎは、どなたでも安心してお越しいただける場所です。
初めての方も、どうぞ肩の力を抜いて、温かいお茶を楽しむ気持ちでご参加ください。
あなたの心の糸を、ここで一緒に大切につむいでいきましょう。

【申し込み方法】

LINE登録

代表：佐藤順子
[医療ソーシャルワーカー]
apricots1225@gmail.com

がんカフェつむぎHP

参加費３００円



今後の予定

- 第2回 がんカフェつむぎ 2026.10.18(日)13:30−16:30
- 第3回 がんカフェつむぎ 2026.11.15(日)13:30−16:30
- 第4回 がんカフェつむぎ 2026.12.27(日)13:30−16:30
- 第5回 がんカフェつむぎ 2026.12.27(日)13:30−16:30
- 第5回 がんカフェつむぎ 2027.1.17(日)13:30−16:30
- 第6回 がんカフェつむぎ 2027.2.28(日)13:30−16:30
- 第7回 がんカフェつむぎ 2027.3.28(日)13:30−16:30

**このカフェは、一般社団法人がん哲学外来の登録のもとに運営されており、
宗教の勧誘や布教活動、商品の販売などは一切行っていません。
初めての方でも安心してご参加いただける、ひらかれた場です。**

主催 所沢がん哲学外来カフェつむぎ 後援 一般社団法人がん哲学外来